

製品名: レニンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17017**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	REN
別名	REN; Renin; Angiotensinogenase
遺伝子 ID	5972.0
SwissProt ID	P00797
免疫原	抗血清はヒト REN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 207-256

背景

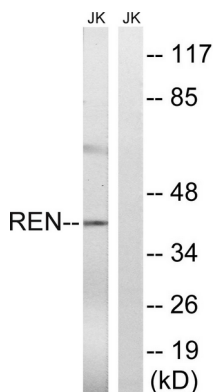
レニンは、アンジオテンシノーゲン活性化経路の第一段階を触媒します。このカスケードは、アルドステロンの放出、血管収縮、そして血圧上昇につながる可能性があります。アスパルチルプロテアーゼであるレニンは、アンジオテンシノーゲンを切断してアンジ

オテンシン I を生成します。アンジオテンシン I は、血圧と電解質バランスの重要な調節因子であるアンジオテンシン I 変換酵素によってアンジオテンシン II に変換されます。異なるタンパク質アイソフォームをコードする転写バリエーションや、選択的スプライシングや代替プロモーターの使用によって生じる転写バリエーションが報告されていますが、その全長は未だ解明されていません。この遺伝子の変異は、家族性高プロレニン血症を引き起こすことが示されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: アンジオテニンノーゲンの Leu-Xaa 結合を切断してアンジオテンシン I を生成します。、疾患: REN の欠陥は腎尿細管形成不全 (RTD) の原因です [MIM: 267430]。RTD は、持続的な胎児無尿と周産期死亡を特徴とする、常染色体劣性の重度の腎尿細管発達障害であり、早期発症の羊水過少症 (ポッター表現型) による肺低形成が原因であると考えられます。、酵素調節: ATP6AP2 との相互作用により、アンジオテニンノーゲンの処理効率が 5 倍向上します。、機能: レニンは非常に特異的なエンドペプチダーゼであり、その唯一の既知の機能は、血漿中のアンジオテニンノーゲンからアンジオテンシン I を生成し、血圧の上昇と腎臓によるナトリウム保持の増加をもたらす一連の反応を開始することです。、オンライン情報: レニンエントリ、類似性: ペプチダーゼ A1 ファミリーに属します。、細胞内位置: ATP6AP2 への結合を介して膜に関連します。、サブユニット: ATP6AP2 と相互作用します。、

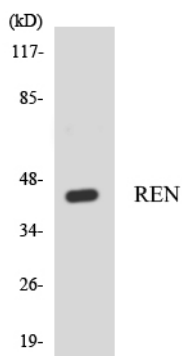
研究分野

レニン-アンジオテンシン系;

画像データ



REN 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



REN 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。